



国語科「詩：河童と蛙」 1年2組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて（前時に行いました）

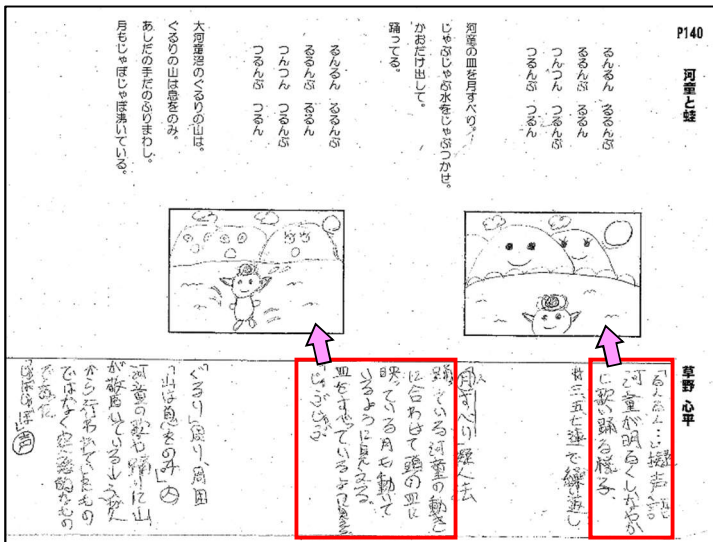
オノマトペの効果について学び、詩を5つの場面に分けて、場面ごとの情景を絵に表すことで、作品に描かれた世界についての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループで、場面ごとの情景や、「スピード」「声の大きさ」「テンポ、間」「人数」といった観点で群読の仕方を話し合うことで、作品に描かれた世界についての考えを深めることができました。

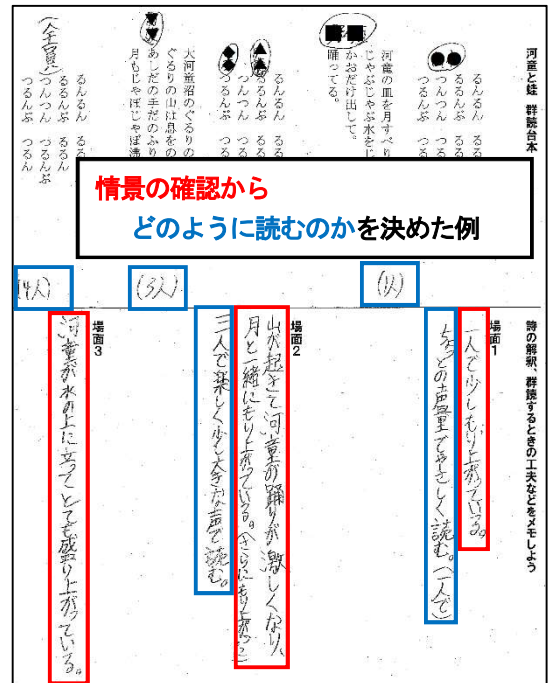
2 授業の様子

教科書を使って、擬声語や擬態語から成るオノマトペについて学ぶと、左下の例のように、多くの生徒が詩の解釈から、場面ごとの情景を絵に表すことができました。生徒は、擬声語や擬態語からその場面を想像し、作品に描かれた世界についての自分の考えをもつことができました。



場面ごとの情景を絵に表した例

グループの話合いでは、情景を表した絵を参考にして、右の例のように、場面ごとの情景を確認し、そこからどのように読むのかを決めていました。情景を絵に表したことで、情景を確認しやすくなり、「スピード」「声の大きさ」「テンポ、間」「人数」といった観点から群読の仕方を考えることができ、作品に描かれた世界についての考えが深まりました。



情景の確認から
どのように読むのかを決めた例

社会科「単元：貴族から武士へ」 1年2組での実践

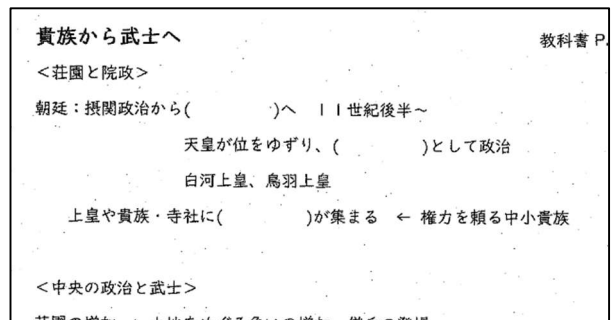
1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

藤原氏の台頭と摂関政治について教育用クイズアプリ「Kahoot!」で振り返ったり、右の学習カードを用いて平氏政権の誕生について学んだりした後、ロイロノートのベン図を用いることで、これまでの摂関政治と平氏政権の特徴について自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

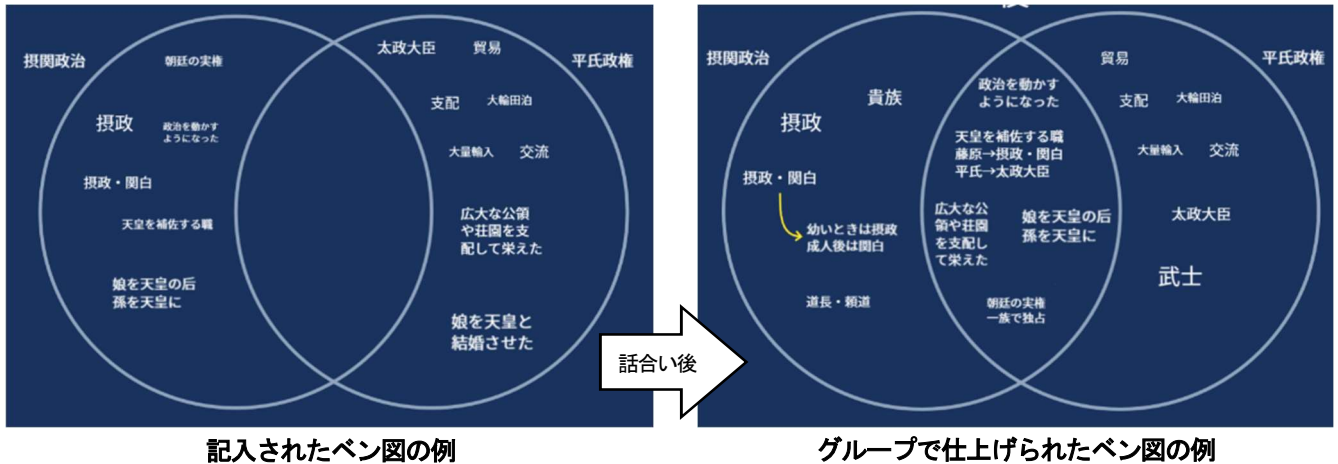
グループでベン図を見合わせて、書かれている内容が「①摂関政治の特徴」「②平氏政権の特徴」「③両方に共通する特徴」のどこにするとよいのかを検討することで、これまでの摂関政治と平氏政権の違いや共通点について考えを深めることができました。



学習カードの一部抜粋

2 授業の様子

摂関政治の問題を速く終わるように競い合って「Kahoot!」に取り組んでいました。また、平氏政権の誕生について、学習カードの括弧に何が入るのかを教師の話の聞いたり、教科書を見たりして考えていました。そして、摂関政治や平氏政権に関する知識から、左下のように摂関政治と平氏政権の特徴をベン図に記入することができ、自分の考えをもつことができました。



記入されたベン図の例

グループで仕上げられたベン図の例

グループでベン図に書かれている内容が「①摂関政治の特徴」「②平氏政権の特徴」「③両方に共通する特徴」のどこにするとよいのかを検討をすると「この特徴は両方だ」「これは平氏政権だけでなく摂関政治にも関係している」などと話し合っていました。そして、右上のようにベン図を仕上げることができ考えを深めることができました。

数学科「単元：図形の調べ方（角と平行線）」 2年2組での実践

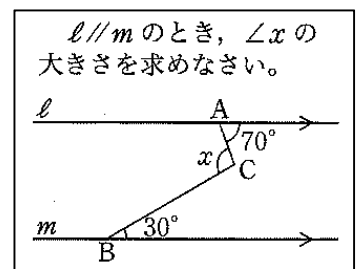
1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

平行線の同位角や錯角、多角形の内角の和など、既習事項を確認できるようにして、角の大きさ（右の問題）の求め方についての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

自分の求め方を説明したり、6つの求め方となるように補助線の引き方を友達と考えたりすることで、角の大きさの求め方について考えを深めることができました。



2 授業の様子

平行線の同位角や錯角、多角形の内角の和など既習事項について、その内容が掲載されている教科書のページを示して確認できるようにしました。生徒は、必要に応じて教科書で確認を取って、どのように補助線の引くと平行線の同位角や錯角、多角形の内角の和が活用できるのかを考えていました。そして、学習プリントへの記述例（上）のように2、3の求め方を記述することができ、自分の考えをもつことができました。

グループでの話し合いでは、友達の求め方を聞いて、自分にない求め方の場合は、友達の学習プリントを見せてもらったり、再度、説明を聞いたりして、求め方を理解しようとしていました。また、6つの求め方が出てきていない場合は、グループで補助線の引き方を考えて、6つの求め方を見付けようとしていました。学級全体で共有する場面では、前のグループが発表した求め方とは違う求め方を発表するようにして、6つの求め方を確認しました。そして、多くの生徒が、学習プリントへの記述例（下）のように、自分が考えることができなかった求め方を書き足して、6つの求め方を記述することができており、考えを深めることができました。

自分で記述した求め方例

<p>① CはAの錯角だからA=C、 DはBの錯角だからB=D、 A=70°、B=30°だから31°の A=70°、C=70°、B=30°、D=30° 70°+30°=100°だから、 x=100°</p>	<p>② DはAの同位角だからA=D、 EはBの同位角だからB=E、 A=70°、B=30°、D=70°、E=30° △CDEの内角の和は180°だから、 C=80°、70°+30°+80°=180° x=100°</p>	<p>③ 線分BCと直線の交点をDとする。 錯角が等しいから、 x=100°</p>
---	---	--

仲間との対話の後、記述した求め方例

<p>④ 90° - (110° - 60° - 90°) = 100° x = 100°</p>	<p>⑤ 30°+70°+A'+B'=180° A'+B'=180° △A'B'C'の内角の和は180° ∠x=100°</p>	<p>⑥ x=100°</p>
---	--	---------------------

学習プリントへの記述例